

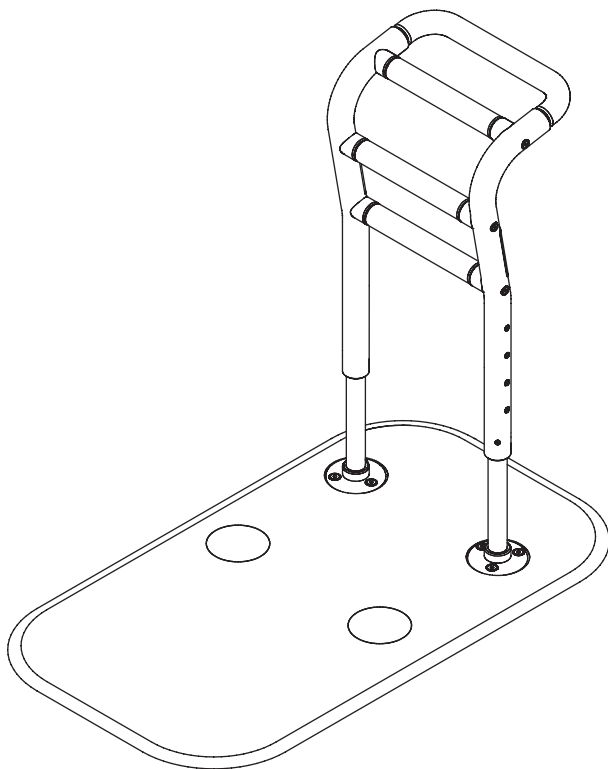
介護保険レンタル対応 据え置き型手すり

PA-9534

取扱説明書

立ち上がり手すり

保管用



このたびは、据え置き型手すり「立ち上がり手すり PA-9534」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

手すりをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この「取扱説明書」も一緒にお渡してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

【販売店または、専門業者の方へのお願い】
この「取扱説明書」は必ず療養される方か介護される方へお渡してください。

もくじ

■ もくじ	1
-------------	---

立ち上がり手すり PA-9534

■ 使用目的・特長	2
■ 安全上のご注意	3～7
■ 各部のなまえ	8
■ 定期点検とお手入れ	8～9
■ 故障かな?と思ったら	9
■ 開梱と部品の確認	10
■ 組立手順	11～16
■ 組立後の点検	16
■ 仕様	17

固定金具

■ 使用目的・特長	18
■ 安全上のご注意	19～20
■ 各部のなまえ	21
■ 定期点検とお手入れ	21
■ 組立手順	22～24
■ 組立後の点検	25
■ 仕様	25

■ 保証とアフターサービス	26
■ 保証書	裏表紙

立ち上がり手すり 使用目的・特長

- この手すりはご使用される方の動作を助けることを目的として作られた手すりです。次のような特長があります。

- 離床動作をサポートする手すり形状

- ＜起き上がり時＞

- 手すりが複数あるので、自分にあった位置でしっかりと保持して上体を引き付けながら起き上がれます。

- ＜立ち上がり時＞

- 最上端の手すりが外側に張り出す形状のため、きちんと前傾姿勢を取りながら立ち上がりの動作ができます。

- ＜方向転換、歩き出し時＞

- 最上端の手すりが外側に張り出す形状のため、方向転換・歩き出しの1歩目までしっかりと身体を支えます。

- 高さ4段階調整

- 様々なご利用状況に合わせて立ち上がりやすいように手すりの高さが4段階に調整可能です。

- 手すり取付け位置は2箇所から選択可能

- ご利用者様の用途に合わせて、外側・中央部の2箇所に取付け可能です。

- ベッドと手すりを固定させる固定金具付き

- ベッドと手すりを合わせてご利用される際には付属の固定金具をご使用ください。ベッドと手すりの間に危険な隙間が出なくなります。

- また、手すりの安定性も向上し、より安心してご利用いただけます。

- (詳細は18ページ以降をお読みください)

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただくため、また、ご利用者様や他の人々へ危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分してます。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



警告

人が生命にかかわるけがまたは重傷を負う可能性が想定される内容



注意

人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示
の例：



記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。



記号は、**禁止**の行為を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

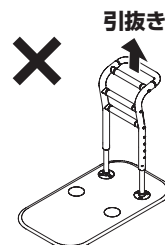
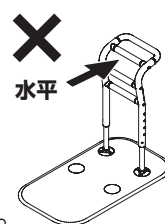


警告



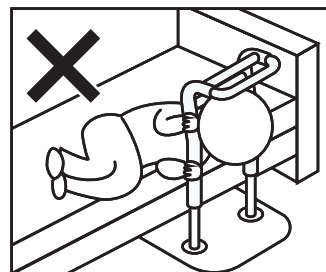
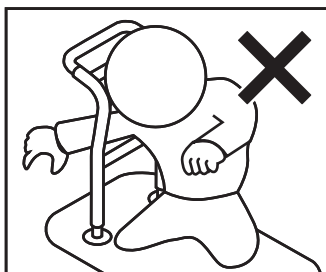
禁止

- 立ち上がり補助以外の用途では使用しないでください。
- 水平方向に力をくわえないでください。
手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり床面とのすき間が発生するような使用はしないでください。
手すりを持ち床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。
- 手すり引抜き方向に力を加えないでください。
- 子供を遊ばせるなど遊具として使用しないでください。
事故のおそれがあります。手すりにぶら下がったり、上に乗ったりしないでください。
- 車いすからの立ち上がりには使用しないでください。
移乗の際に転倒するおそれがあります。
- 濡れた手、脚、靴底で使用しないでください。滑って転倒するおそれがあります。
- ベースや手すりフレームが濡れた状態で使用しないでください。
滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。



⚠ 警告

- 手すりフレームに頭や手、脚を入れないでください。
窒息や骨折のおそれがあります。
- 手すりフレームとベッドとの間に頭や体、手・脚を入れないでください。
窒息や骨折のおそれがあります。

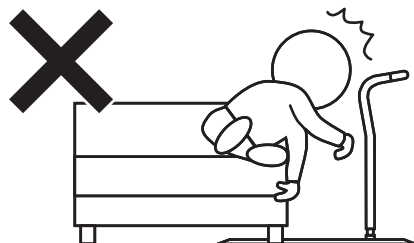
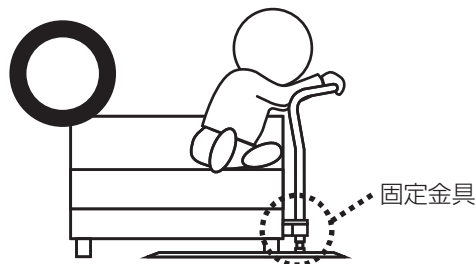


禁止

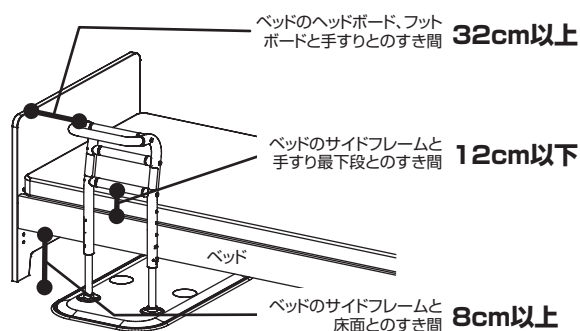
- 予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使用しないでください。
利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームのすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる 重大事故につながるおそれがあります。特にベッドの上で予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。
※重度者（特に介護度 4・5）の方が利用する場合は、十分モニタリング、フィッティングを行なった上で使用してください。また、ご使用に適さなくなった場合は、直ちに使用をやめ、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談し、適切な処置を受けてください。
- 2人以上同時に使用しないでください。本製品は1人用です。
- 弊社製品と他社製品を組み合わせないでください。破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
- 改造・加工は絶対に行わないでください。事故の原因になります。
- お使いの電動ベッドに装着しているサイドレール、介助バーと組み合わせて使用しないでください。組み合わせて使用すると、首や手、脚を挟むすき間が生じる場合があり、事故の原因になります。
- 昇降機構のある電動ベッドでは使用しないでください。
- キャスター付きのベッドで使用しないでください。
- 折りたたみベッドで使用しないでください。

警告

- 固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況をご確認の上使用してください。
ベッドサイドで使用する場合は必ず固定金具を使用してください。
固定金具が使用できないベッドサイドでは使用しないでください。
固定金具を使用しないとベッドとの間にすき間が生じ、身体をすき間にはさむ
などしてケガをするおそれがあります。



- ベッドサイドで使用する場合は必ずベッドと手すりのすき間を確認し、右図のようになるように手すりの高さ、設置位置を調整してください。



- 使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をしてください。お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談することをお勧めします。
- 設置後ガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認してください。
- 電動ベッドで使用する場合は、電動ベッドの取扱説明書を確認してください。
特殊寝台など、手すりが使用できない場合があります。
- 電動ベッドで使用する場合は、頭や手、脚が入った状態で操作すると、はさまれて身体の障害や生命にかかわる事故を発生させるおそれがあるので注意してください。
電動ベッドで使用する場合は、利用者の身体がはさまらない安全な間隔で設置してお使いください。また、電動ベッドの手元スイッチは、無意識に触れて誤操作しないように、置く場所に十分注意してください。



必ず守る

⚠ 注意

禁止	●屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。 ●火のそばでは使用しない。金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。 ●水やお湯に濡れる場所では使用しない。変質や破損するおそれがあります。 ●締付トルク以上で締め付けない。破損するおそれがあります。 ●電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。（ねじの締付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。）
必ず守る	●組み立て、高さ調整は納入業者が行ってください。 ●一般家庭の室内で使用してください。 ●平らで水平な場所で使用してください。 ●手すりは、ベースから外した状態では強度がないので、衝撃、荷重による転送・保管する場合は、納入時の梱包用段ボールを使用して管理することをお勧めします。 ●クッションフロア材(塩化ビニル製)などの上に長時間設置するとクッションフロア材にへこみや色移りする場合があるので、注意してください。 ●定期的にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れ、部品の破損がないことを確認してください。 ●ご使用の際は介護者が利用者の状態(安全に使用できる状態にあるか)を確認してください。 利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談してください。 ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。 ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。 ●介護者などの付き添いが必要な方が使用する場合は十分注意する。 ●布団からの起き上がりで使用する場合は、ベースを敷布団の下に差し込み、手すりを布団と平行に設置してください。 ●ベッドフレームの下に8cm以上のすき間があるか確認してください。ベッドフレームの下に8cm以上のすき間がない場合、固定金具を取り付けることができません。

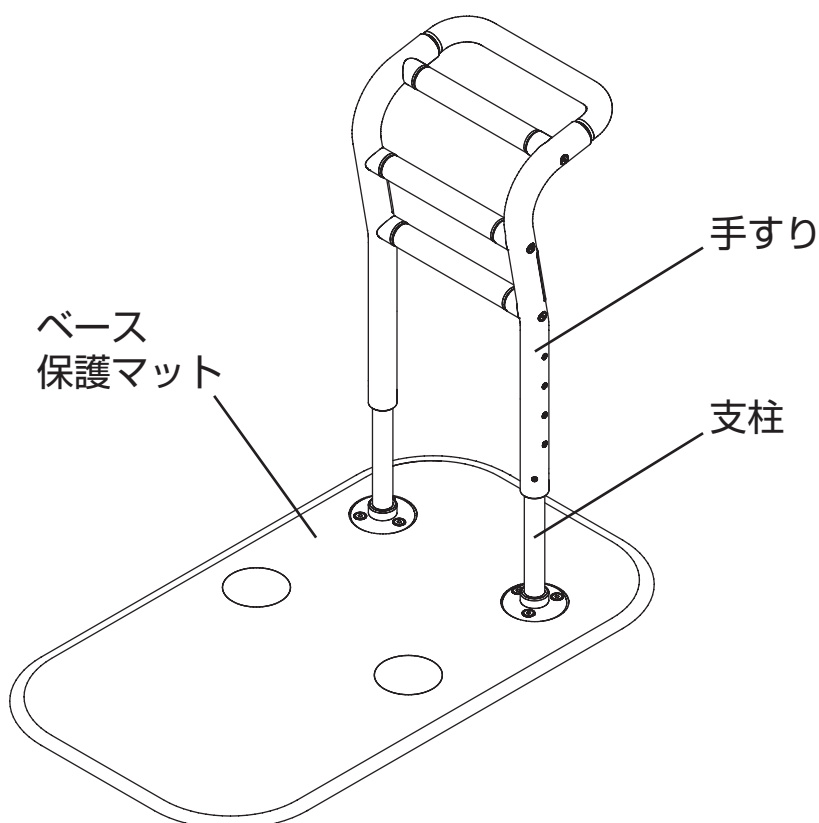
⚠ 注意



必ず守る

- ベース縁部のゴムには厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意してください。
- 裏面が平らなスリッパ、厚手の靴下は滑る場合があるので注意してください。
- すり足で歩くとマットがめくれる場合があるので注意する。常時すり足でご使用になる場合は転倒のおそれがありますので使用しないでください。
- マットを貼り付けた状態で使用する。めくれた状態で使用すると転倒のおそれがあります。
- 移動させる場合はベース部分を持ち上げて移動させてください。手すりを持ち上げますとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。また、引きずりますと床面を傷つけるおそれがあります。
- 結露した場合は乾いた布などで拭き取ってください。室内環境によって金属部分に結露が発生するおそれがあります。結露した状態で放置すると布団や畳にカビを発生させる原因になります。常に拭き取ってからご使用してください。
- 製品に異常を見つけた場合は使用を中止してください。正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。高温多湿の場所で保管しますと、変形、結合部の外れの原因になります。

各部のなまえ



お手入れ方法

定期点検

- 安全にご使用いただくために、1ヶ月に1回は定期的に点検してください。
ご使用の回数や環境などにより、製品は摩耗・劣化が進みます。
定期的に各部のゆるみ、破損の有無などを点検してください。
※点検項目は16ページ「組立後の点検」をお読みください。
- 異常が認められた場合やくわしい点検をご希望されるときは、販売店へご連絡ください。

お手入れ

- 手すり本体の汚れを落とすとき
以下①～③の手順でおこなってください。
①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってふきます。
②水でひたした布をよくしぼって洗剤分をふきとります。
③乾いた布で残った水分を十分ふきとり、水分を残さないようにします。

⚠ 注意

- シンナー、ベンジン、ガソリン、クレゾールは使用しないでください。
→変色・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤のふき残しがないようにしてください。
→変色や樹脂の部分が割れるおそれがあります。

お手入れ方法

お手入れ

●保護マットの汚れを落とすとき

保護マット表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水か中性洗剤を含ませた布をかたくしぼって拭き取ってください。

●消毒するとき

以下の消毒剤を指定の濃度または消毒剤の取扱説明書にもとづきご使用ください。

・消毒用エタノール ・オスバン ・ハイアミン ・ヒビデン ・ミルトン

※オゾン殺菌器、オートクレープ滅菌器などには対応していません。

⚠ 注意

●消毒剤は指定以外の薬品を使用しないでください。

→破損・変質のおそれがあります。

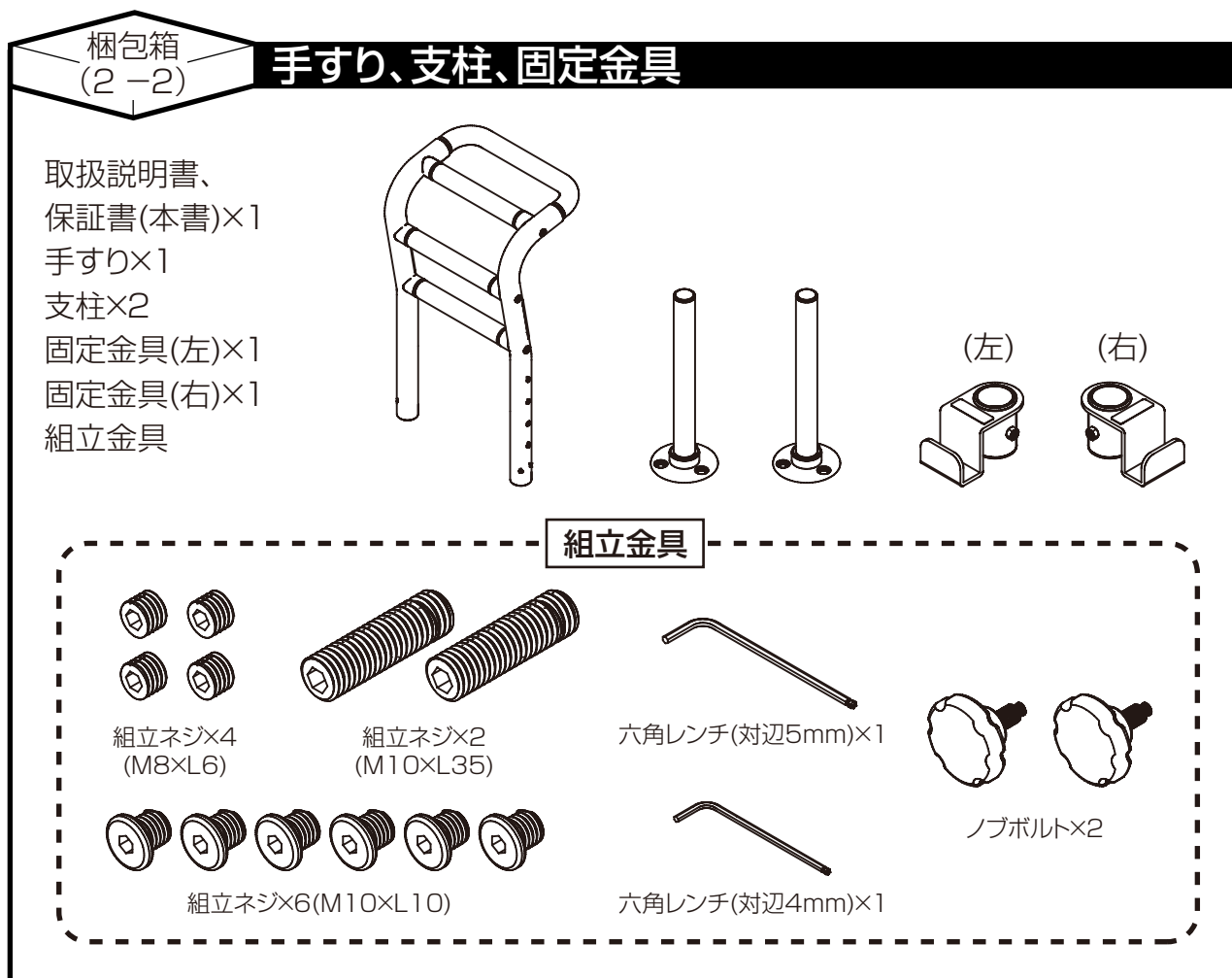
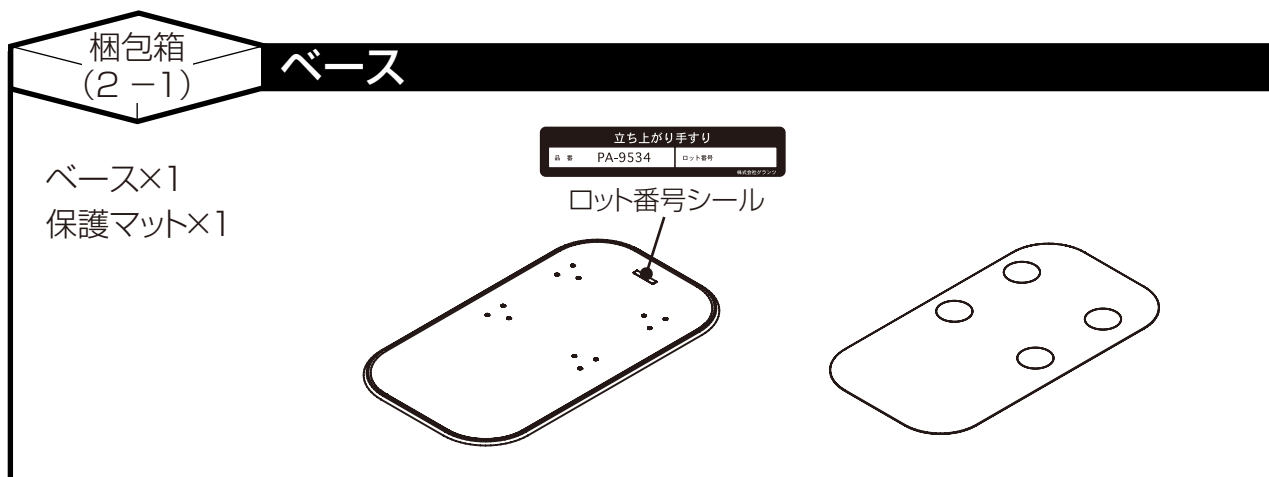
故障かな？と思ったら

- 故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度以下の項目を確認してください。
- 確認・処理をしても正常に動作しない場合は、ただちに手すりの使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。
- 地震、火災、水害などで被災した手すりは、販売店に点検修理をご要望ください。電装品のショートや漏電による感電、火災、手すりの変形による動作異常により、けがをする可能性があります。

症状	確認	処置
手すりに ガタつきがある	ベースに支柱を固定する組立ネジはしっかりと締め付けられていますか？	組立ネジ(M10×10)6箇所を指定トルクで締め直してください。 (12ページ参照)
	支柱に手すりを固定する組立ネジはしっかりと締め付けられていますか？	組立ネジ(M8×6)4箇所を指定トルクで締め直してください。 (15ページ参照)
	床に段差などはありませんか？	平らで水平な場所に設置してください。

開梱と部品の確認

●開梱後に以下の部品がすべてそろっていること、破損していないことを確認してください。
万一、部品の不足・破損があった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

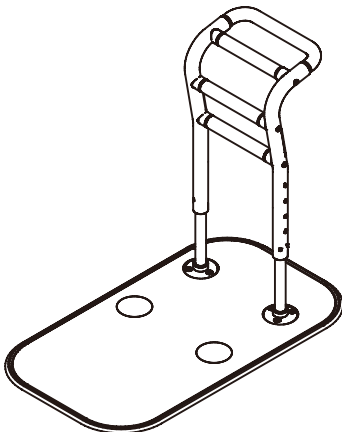


 注意	 必ず守る	●開梱にあたり、カッターを使用するときは内部の部品を傷つけないよう注意してください。 また、カッターで手や指を切らないようにしてください。 ●ダンボールの切りはしで指を切るおそれがあるのでご注意ください。 ●ダンボールなどの梱包材の廃棄方法は、地方自治体の規則によって異なります。 お住まいの地方自治体の条例にしたがって処分してください。 以上のことを守らないと事故やけがのおそれがあります。
---------------	-----------------	--

組立手順

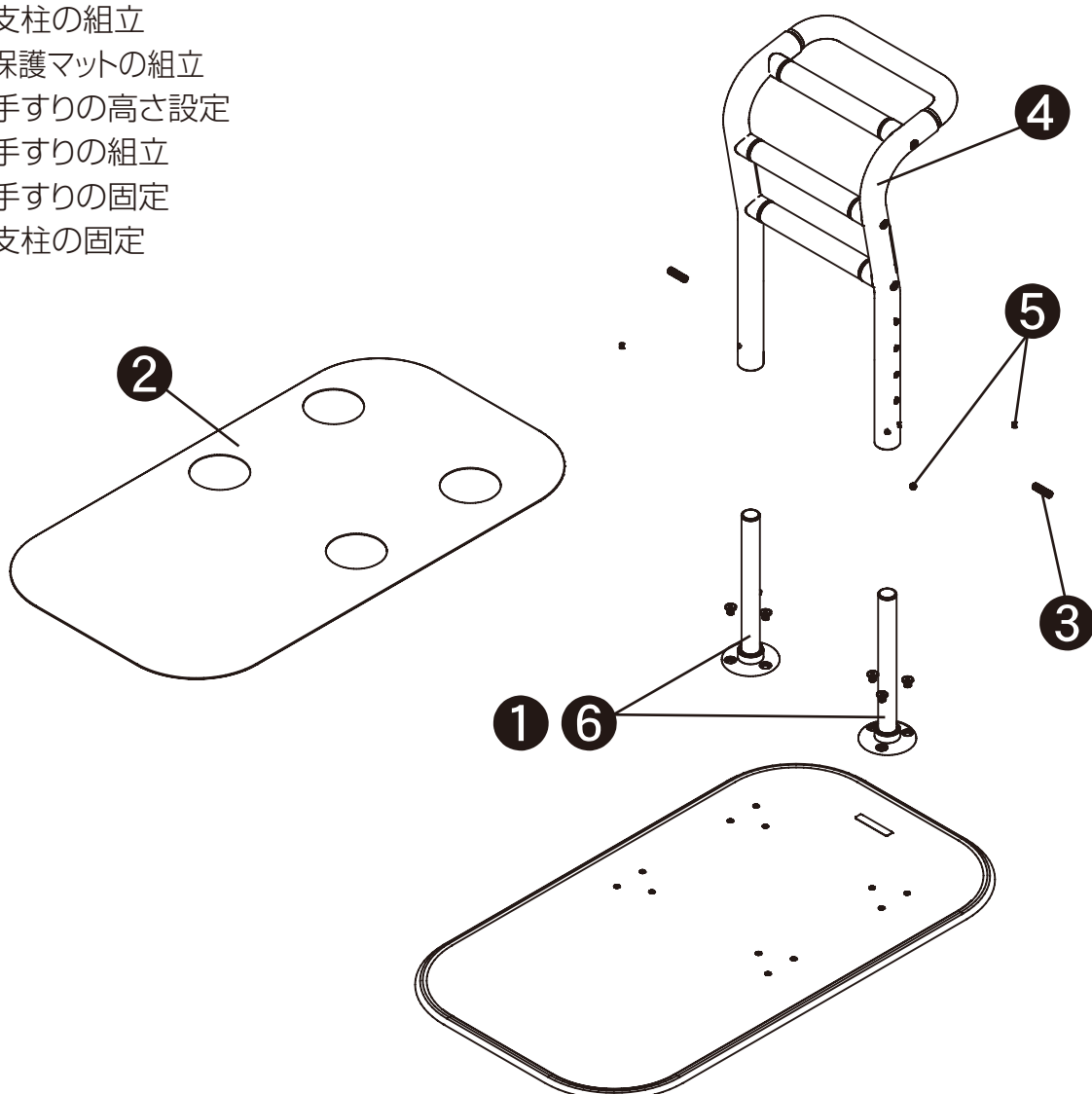
●組立作業は販売店、または専門業者に依頼されることをおすすめします。

 注意	 必ず守る	●ネジのしめ付けは必ず指定トルクを守っておこなってください。 過剰トルクで締め付けるとネジの破損の原因となります。 ●部品を固定している組立ネジなどをはずすときは部品を手でささえてください。 ささえていないと部品が落下し、破損、けがをするおそれがあります。
--	--	--

組立 完成図	
-------------------	--

●組立手順の概要

- ①支柱の組立
- ②保護マットの組立
- ③手すりの高さ設定
- ④手すりの組立
- ⑤手すりの固定
- ⑥支柱の固定



1

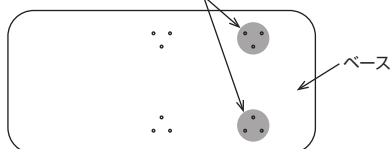
支柱の組立

支柱の取り付け位置をお選びください。

<支柱取り付け位置図>

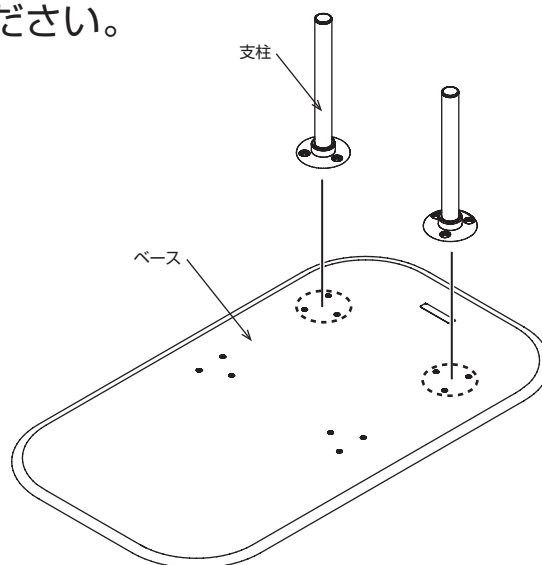
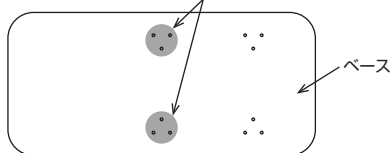
外側

支柱取り付け箇所(2箇所)



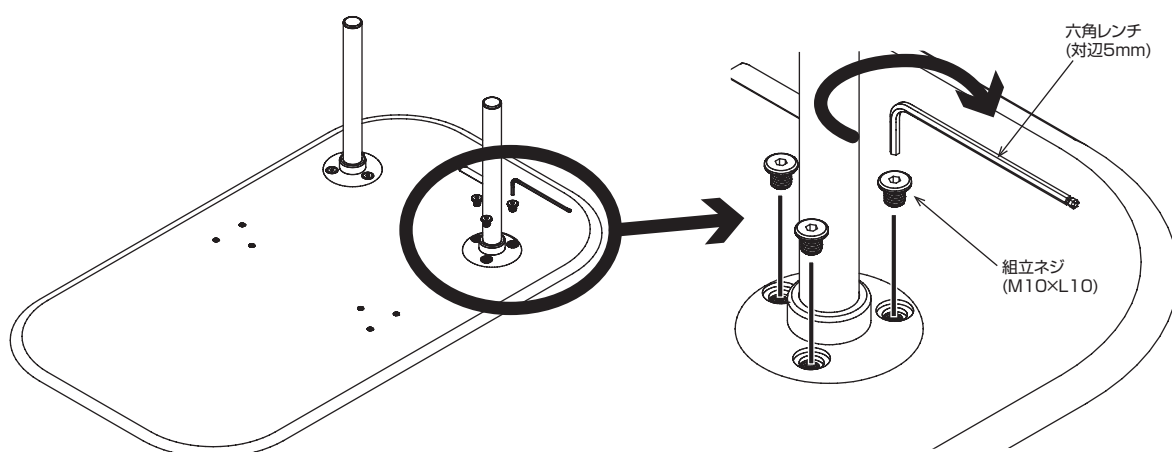
中央側

支柱取り付け箇所(2箇所)



- 支柱は必ず指定の位置に、指定の組立ネジで固定してください。
- ネジは、ネジ穴に対してまっすぐに締め付けてください。
無理に締め付けるとねじ山が破損する原因になります。

ベースと支柱のネジ穴を合わせて組立ネジ(M10×L10)を六角レンチ(対辺5mm)で仮止めしてください。



2

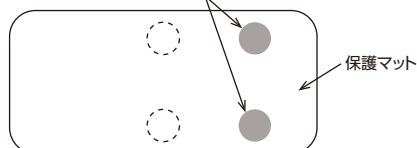
保護マットの組立

保護マットの取り付け位置を確認して支柱部分のマットを切り取ってください。

<マット切り取り位置図>

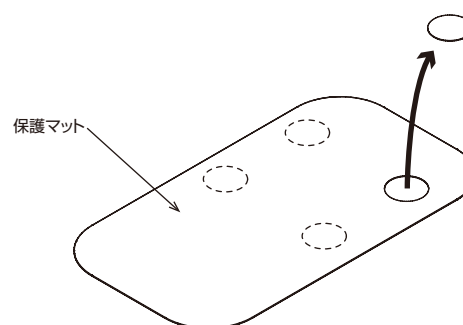
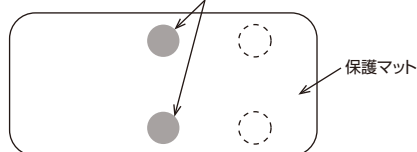
外側

マット切り取り箇所(2箇所)

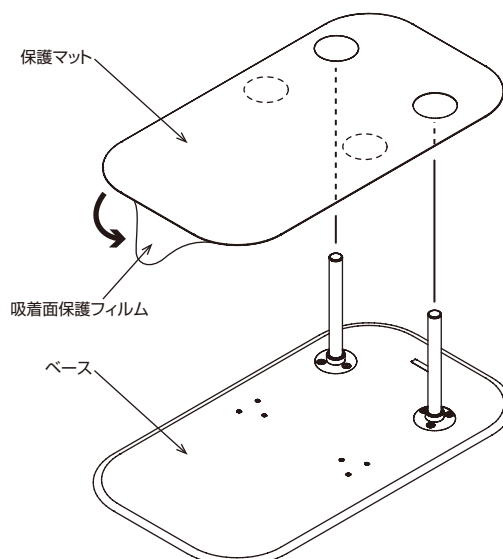


中央側

マット切り取り箇所(2箇所)



保護マット裏面についている吸着面保護フィルムをきれいにはがして、吸着面を下にしてベースに保護マットを貼ってください。



注意



禁止

- 「立ち上がり手すり PA-9534」のベースに貼り付ける以外の用途では使用しないでください。
- 土足で使用しないでください。マットが傷んだり、破損の原因になります。
- 保護マットに跡が付くものや傷をつけるような鋭利なものを載せないでください。跡が付いたり破れるおそれがあります。



必ず守る

- 保護マットを貼り付けた状態で使用してください。めくれた状態で使用すると転倒のおそれがあります。
- ご使用前に吸着面保護フィルムをはがしてください。

- ※埃などが付着するとベースへの吸着力が低下します。その場合汚れを落とせば回復します。汚れを落としても吸着力が回復しない場合は、マットの交換をしてください。
- ※吸着力が強い場合はゆっくりと取り外してください。万一、マット裏の吸着材が付着した場合は、ぬるま湯を浸した布で拭き取ってください。
- ※長期間貼り付けたままにしておくと、ベース面に密着することがあります。定期的に取り外してお手入れすることをお勧めします。
- ※保護マットのお手入れは9ページの「お手入れ方法」を読んでから行ってください。

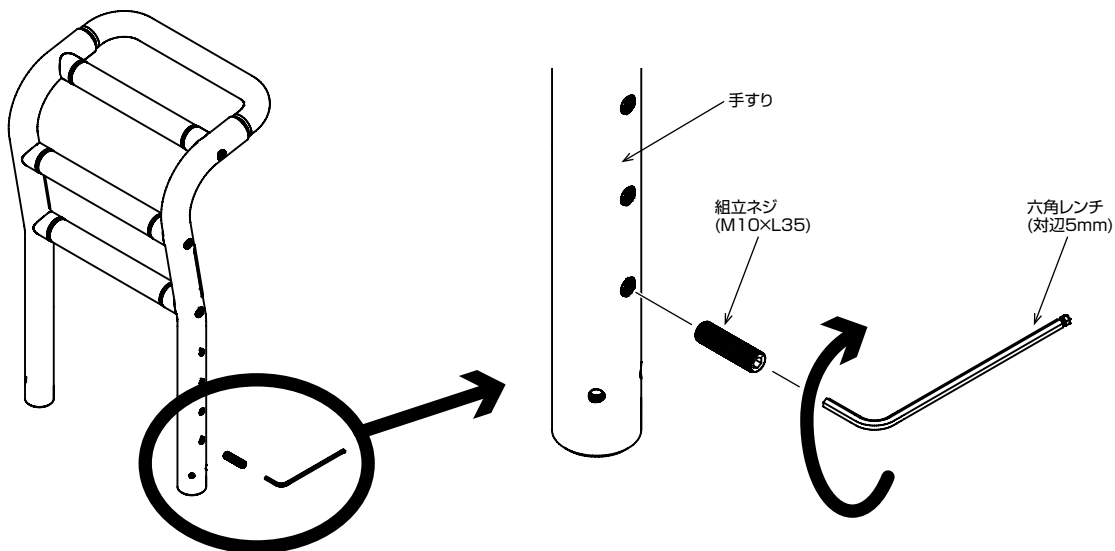
3

手すりの高さ設定

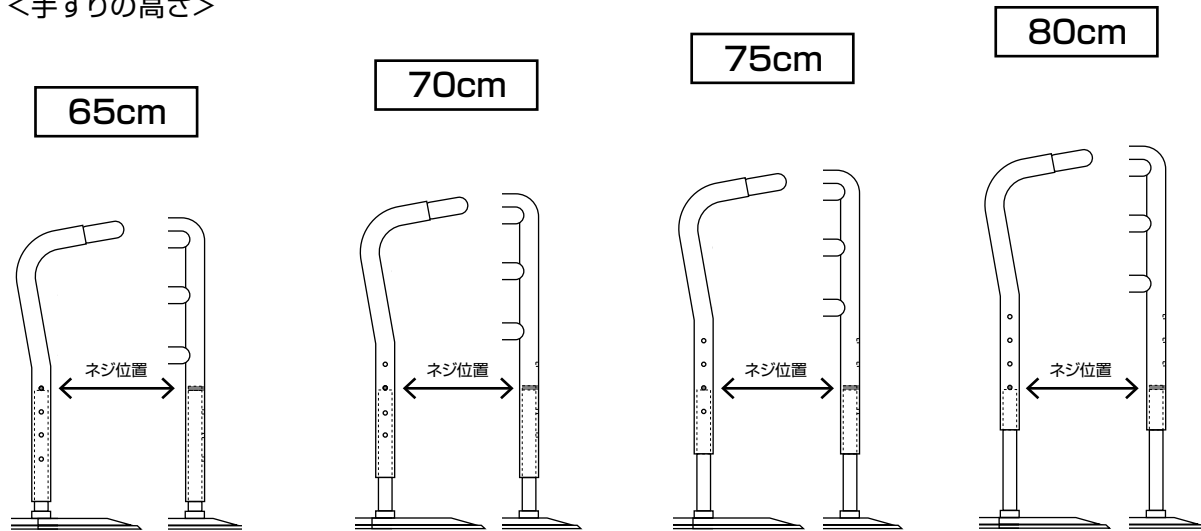
手すりの高さは65cmから、80cmの範囲で4段階に調整できます。

手すりの高さを決め、高さ調整ネジ穴に組立ネジ(M10×L35)を六角レンチ(対辺5mm)で組み付けてください。

※締め付けトルク参考値:6.9~7.8N・m(70~80kgf・cm)



<手すりの高さ>



注意



禁止

●電動工具（電動ドライバー等）を使用しないでください。
過剰トルクで締め付けるとネジの破損の原因になります。
(ネジの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)



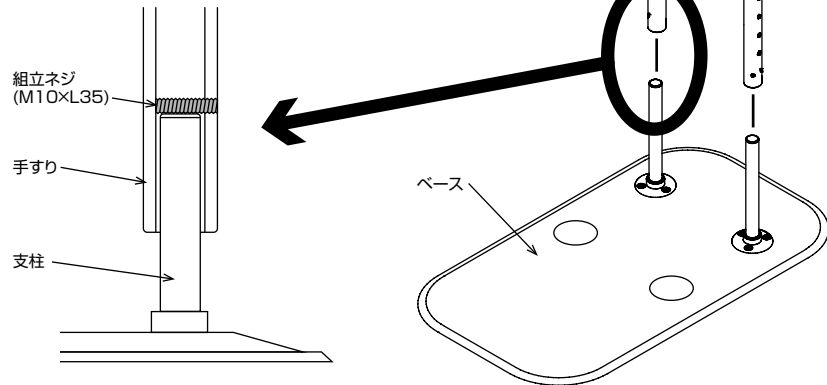
必ず守る

●組立ネジ(M10×L35)のネジ頭が支柱面から出ていないことを確認してください。ケガの原因になります。

4

手すりの組立

手すりを差し込んで組立ネジ(M10×L35)に支柱を確実に当ててください。
また、手すりの高さが左右で同じになっているか確認してください。



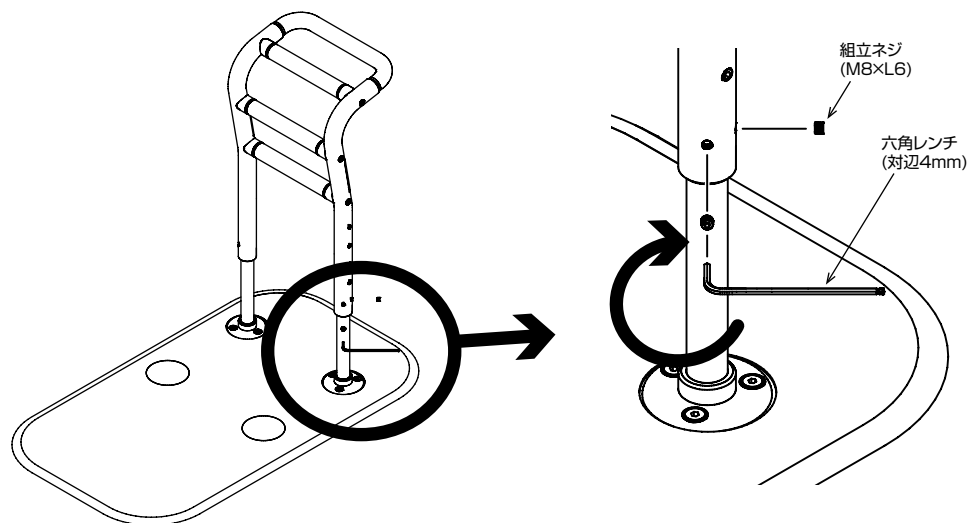
- 手すりフレームの高さは左右同じになるように設定する。
- 手すりは組立ネジ(M10×L35)に当たるまで差し込む。
差し込みが不十分だと、ガタつきの原因になります。

5

手すりの固定

手すりを差し込み、組立ネジ(M8×L6)2箇所を六角レンチで締め付け、手すりを固定してください。

※締め付けトルク参考値:3.9~4.9N・m(40~50kgf・cm)



- 組立ネジ(M8×L6)のネジ頭が支柱面から出ていないことを確認してください。ケガの原因になります。

※ 繰り返し手すりフレームの高さ調整をした場合、高さによっては傷や組立ネジ(M8×L6)の跡が見える場合があります。

12ページで行った仮止め状態の組立ネジ(M10×L10)を六角レンチ(対辺5mm)で確実に締め付けてください。

※締め付けトルク参考値:6.9～7.8N・m(70～80kgf・cm)



- 電動工具(電動ドライバー等)を使用しないでください。
過剰トルクで締め付けるとネジの破損の原因になります。
(ネジの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)

組立後の点検

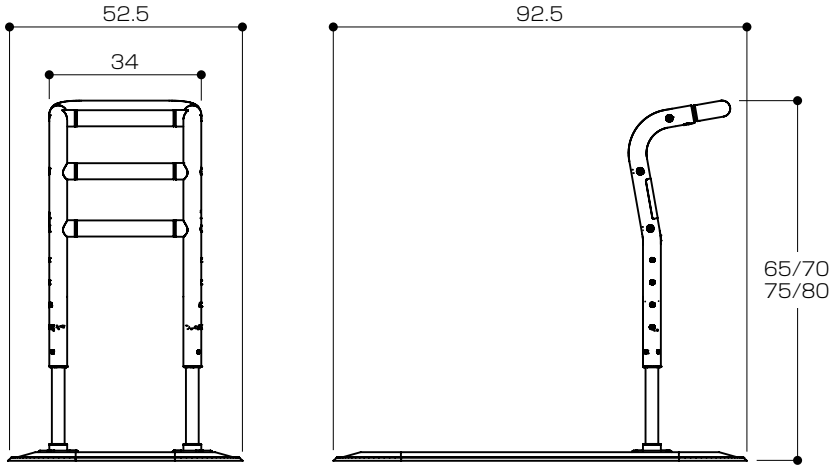
- 手すりの組立が終了しましたら手すりに負荷がかかっていない状態で以下の点検項目を確認してください。また、定期点検のときにも、このリスト使用してください。
(このリストをコピーしてお使いください。)



- 組立後の点検は必ず実施してください。
組立が不十分な状態で使用するとけがや故障のおそれがあります。

- 点検作業を実施しているときに異常な音や振動などの不具合が生じたときは、すぐに手すりの使用を中止して販売店までご連絡ください。

1	保護マットの組立: 吸着面保護フィルムははがしていますか? めくれ、はがれなく貼り付けられていますか?	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	13ページの 組立手順② 参照。
2	手すり高さの設定: 手すりの高さ調整用の組立ネジ(M10×L35)は しっかり締まっていますか? 手すりの高さ調整用の組立ネジ(M10×L35)は 左右で同じ位置ですか?	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	14ページの 組立手順③ 参照。
3	手すりの固定: 手すり固定用の組立ネジ(M8×L6)はしっかり 締まっていますか? 手すりにガタつきはありませんか?	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	15ページの 組立手順⑤ 参照。
4	支柱の組立、固定: 支柱とベースはしっかりと固定されていますか?	☐ はい ☐ いいえ	16ページの 組立手順⑥ 参照。

品名	立ち上がり手すり PA-9534
品番	PA-9534
質量	23.5kg
主な材質	手すり：スチール、樹脂、スポンジ 支柱：スチール、樹脂 ベース：スチール、ゴム 保護マット：ポリエステル(表面)、PVC(吸着面)
生産国	中国
寸法 (単位=cm)	 The technical drawing shows two views of the standing handrail. The front view on the left indicates a total width of 52.5 cm and a handrail width of 34 cm. The side view on the right shows a total depth of 92.5 cm. The height of the handrail is adjustable, with three positions marked: 65 cm, 70 cm, 75 cm, and 80 cm.

※この「取扱説明書」に記載されている数値には多少の誤差が含まれています。表記を見やすくするため、約、およそ、といった言葉を省略しています。

※仕様変更・追加などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
不明な点がありましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

固定金具 使用目的・特長

●この固定金具は手すりをベッドサイドに設置してご使用されることを目的として作られた金具です。次のような特長があります。

●ベッドと手すりを固定させ安定性を向上

ベッドと手すり固定させることで安定性が向上、ベッドからの離床動作の際にしっかりと体重をかけて起き上がり動作が行えます。

●ベッドと手すりの間の危険な隙間を回避

ベッドと手すりを固定させることでベッドと手すりの間に危険な隙間が出なくなります。

※床からベッドのサイドフレーム底面までの高さが8～38cmまでのベッドでご使用になれます。

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただくため、また、ご利用者様や他の人々へ危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分してます。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

 **警告** 人が生命にかかわるけがまたは重傷を負う可能性が想定される内容

 **注意** 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

絵表示
の例：

 記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。

 記号は、**禁止**の行為を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

 必ず守る

- 「立ち上がり手すり PA-9534」の支柱に取り付けて使用する以外は使用しないでください。
- 固定金具の上に人は乗らないでください。
- 改造・加工は絶対に行わないでください。事故の原因になります。
- 弊社製品と他社製品を組み合わせないでください。破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
- 設置後にガタつき、ねじのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認してください。
- 昇降機構のある電動ベッドでは使用しないでください。

注意

 禁止

- 使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をしてください。お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなどの専門家に相談することをお勧めします。
- 固定金具は左右セットで使用してください。
- 定期的にガタつき、ねじのゆるみ、部品の破損がないことを確認してください。

注意



禁止

- 足をかけたり、踏み台として使用しないでください。
- 固定金具の突起に衣服などを引っ掛けないように注意してください。

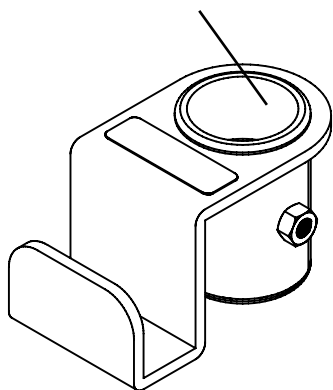


必ず守る

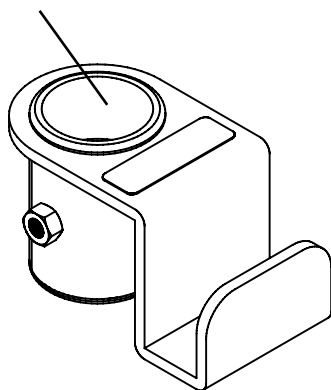
- 「立ち上がり手すり PA-9534」のベッドサイドでの使用以外の目的で使用しないでください。
- 固定金具の引っ掛け部とベッドのサイドフレーム底面を確実に当ててください。
- 固定金具は「立ち上がり手すり PA-9534」の手すり部の範囲内で固定してください。
- ベッドを移動、ベッドを交換される場合は固定金具を外してから移動させ、再度設置してください。
(固定金具をはずされるときは、ノブボルトを緩めてください。)
- 再度組立作業をされる時は、取扱説明書をお読みいただき組立順序、注意事項に従って設置してください。

各部のなまえ

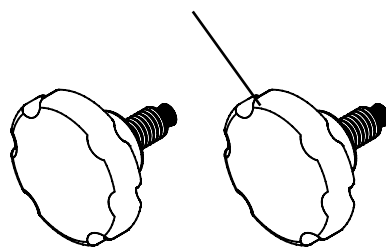
固定金具(左)



固定金具(右)



ノブボルト



お手入れ方法

定期点検

- 安全にご使用いただくために、1ヶ月に1回は定期的に点検してください。
ご使用の回数や環境などにより、製品は摩耗・劣化が進みます。
定期的に各部のゆるみ、破損の有無などを点検してください。
※点検項目は25ページ「組立後の点検」をお読みください。
- 異常が認められた場合やくわしい点検をご希望されるときは、販売店へご連絡ください。

お手入れ

●手すり本体の汚れを落とすとき

以下①～③の手順でおこなってください。

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってふきます。
- ②水でひたした布をよくしぼって洗剤分をふきとります。
- ③乾いた布で残った水分を十分ふきとり、水分を残さないようにします。

●消毒するとき

以下の消毒剤を指定の濃度または消毒剤の取扱説明書にもとづきご使用ください。

・消毒用エタノール ・オスバン ・ハイアミン ・ヒビデン ・ミルトン

※オゾン殺菌器、オートクレープ滅菌器などには対応していません。

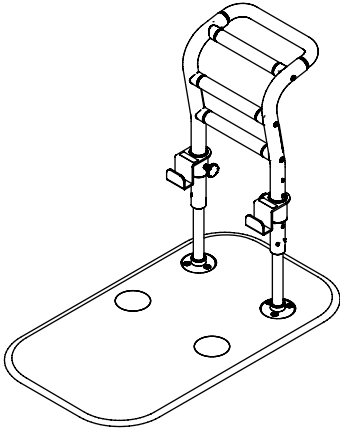
⚠ 注意

- シンナー、ベンジン、ガソリン、クレゾールは使用しないでください。
→変色・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤のふき残しがないようにしてください。
→変色や樹脂の部分が割れるおそれがあります。
- 消毒剤は指定以外の薬品を使用しないでください。
→破損・変質のおそれがあります。

組立手順

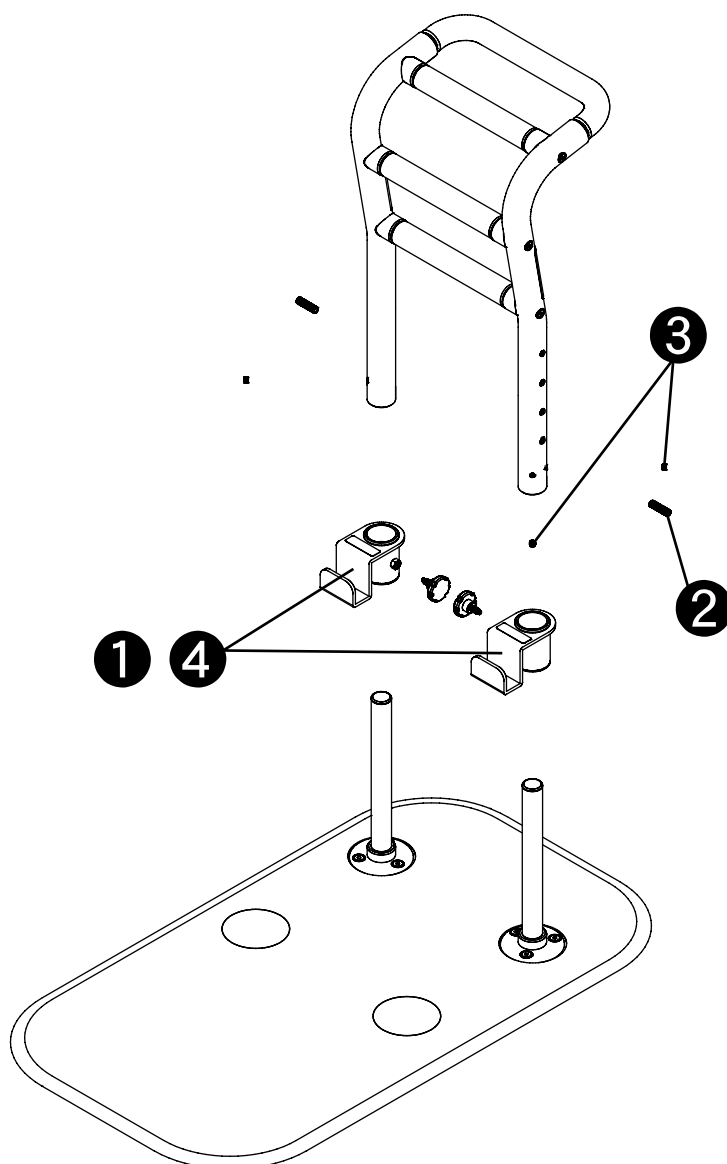
- 組立作業は販売店、または専門業者に依頼されることをおすすめします。

 注意	 必ず守る	●ネジの締め付けは必ず指定トルクを守っておこなってください。 過剰トルクで締め付けるとネジの破損の原因となります。 ●部品を固定している組立ネジなどをはずすときは部品を手でささえてください。 ささえていないと部品が落下し、破損、けがをするおそれがあります。
--	--	--

組立 完成図	
-------------------	--

●組立手順の概要

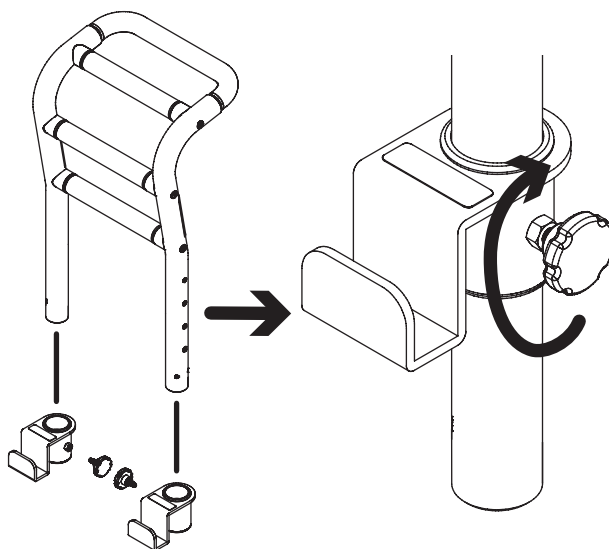
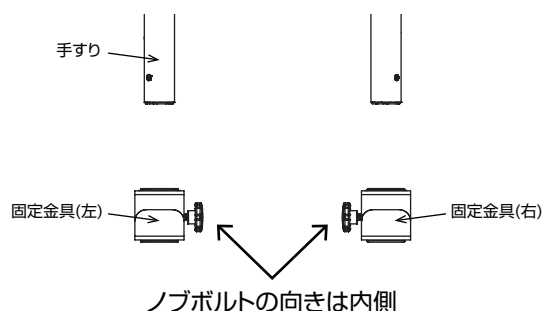
- ①固定金具の組立
- ②手すりの高さ設定
- ③手すりの固定
- ④固定金具の固定



1

固定金具の組立

支柱に固定金具を取り付け、
ノブボルトで仮止めしてください。
※ノブボルトが手すりの内側になるよう取り付けてください。

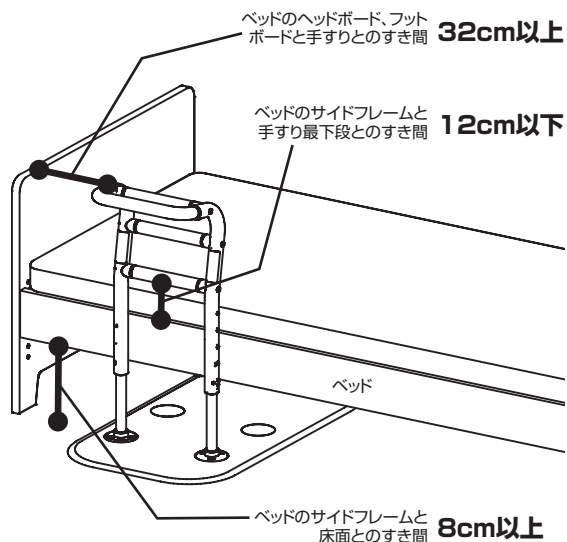


●固定金具のノブボルトの向きは必ず手すりの内側になるよう取り付けてください。ノブボルトの向きが外側になるとノブボルトに衣類などがからまり転倒、けがをするおそれがあります。

2

手すりの高さ設定

ご使用されるベッドに手すりを
合わせ、ベッドと手すりとの間に
できるすき間が右図のよう
になるように手すりの高さ、設置
位置を調整してください。
※手すりの高さ調整方法は
14ページをご覧ください。



●立ち上がり手すり PA-9534及び 固定金具は、絶対に指定製品以外や、電動ベッドのサイドレール・介助バーまたは、他社製品と組み合わせて使用しないでください。



●ベッドサイドで使用する場合は必ず固定金具を使用し、ベッドのヘッドボード、フットボードと手すりのすき間は32cm以上離し、手すりの最下段とサイドフレーム上端とのすき間は12cm以下になるように手すりの高さを調整してください。

3

手すりの固定

組立ネジ(M8×L6)2箇所を六角レンチ(対辺4mm)で締め付け、手すりを固定してください。

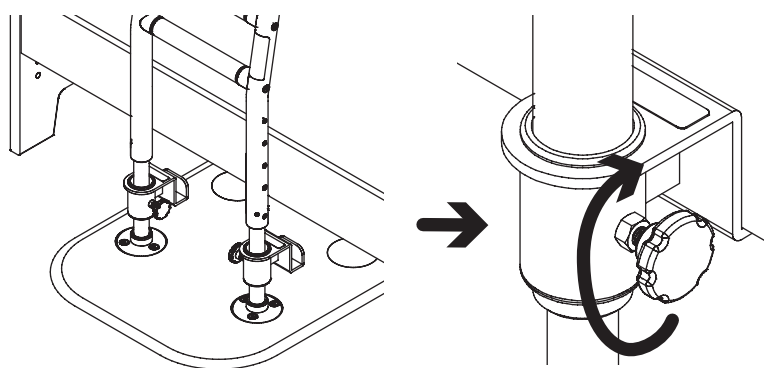
※締め付けトルク参考値:3.9~4.9N・m(40~50kgf・cm)

※手すりの固定方法は15ページをご覧ください。

4

固定金具の固定

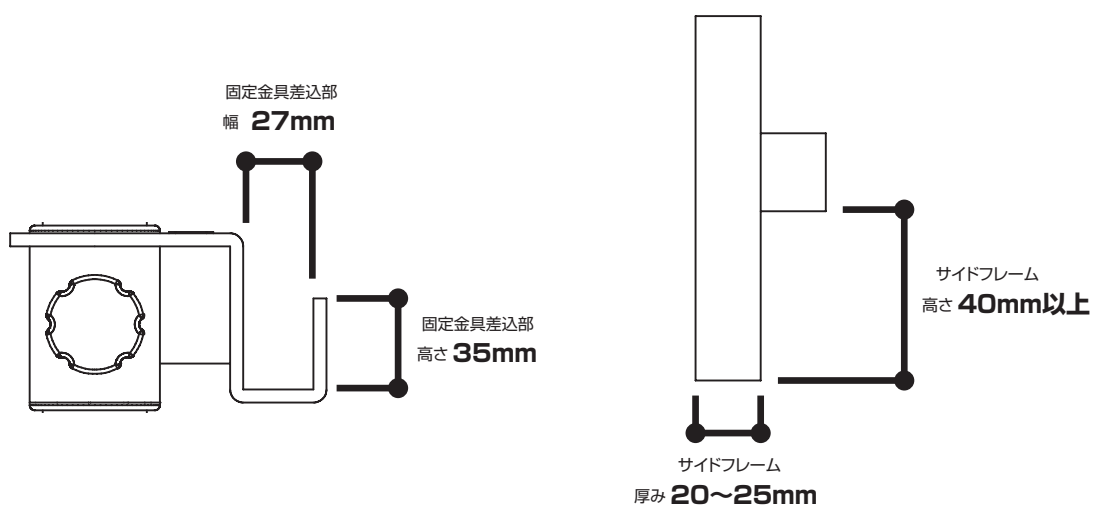
固定金具をベッドのサイドフレームの下側に引っ掛け、ノブボルトをしっかりと締め込んで固定してください。



固定金具のサイズと使用できるベッドフレームのサイズは下図の通りです。

固定金具差込部：幅27mm、高さ35mm

ベッドサイドフレーム：厚み20~25mm、高さ40mm以上



- 固定金具が使用できないベッドサイドでは使用しないでください。
固定金具を使用しないとベッドとの間にすき間が生じ、身体をすき間にはさむなどしてケガをするおそれがあります。

組立後の点検

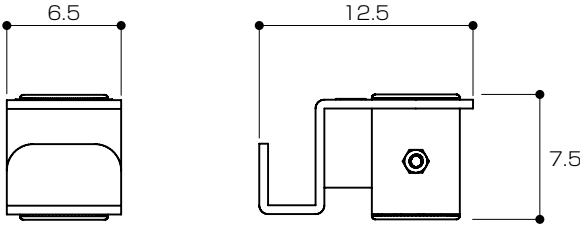
- 固定金具の組立が終了しましたら手すりに負荷がかかっていない状態で以下の点検項目を確認してください。また、定期点検のときにも、このリスト使用してください。
(このリストをコピーしてお使いください。)

 注意	 必ず守る	●組立後の点検は必ず実施してください。 組立が不十分な状態で使用するとけがや故障のおそれがあります。
--	--	--

- 点検作業を実施しているときに異常な音や振動などの不具合が生じたときは、すぐに手すりの使用を中止して販売店までご連絡ください。

1	手すり高さの設定: 手すりの高さ調整用の組立ネジ(M10×L35)は しっかり締まっていますか? 手すりの高さ調整用の組立ネジ(M10×L35)は 左右で同じ位置ですか?	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	14ページの 組立手順③ 参照。
2	手すりの固定: 手すり固定用の組立ネジ(M8×L6)はしっかり 締まっていますか? 手すりにガタつきはありませんか?	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	15ページの 組立手順⑤ 参照。
3	固定金具の組立: 固定金具固定用のノブボルトはしっかり 締まっていますか? 固定金具にガタつきはありませんか?	☐ はい ☐ いいえ ☐ はい ☐ いいえ	24ページの 組立手順④ 参照。

仕様

品名	固定金具
品番	PA-9534
質量	1.5kg
主な材質	スチール、樹脂
生産国	中国
寸法 (単位=cm)	

※この「取扱説明書」に記載されている数値には多少の誤差が含まれています。表記を見やすくするため、約、およそ、といった言葉を省略しています。

※仕様変更・追加などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
不明な点がありましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

保証とアフターサービス

1.保証書

保証書は必ず『販売店名・お買い上げ日』などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品名・品番・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、お買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱説明書の9ページ「故障かな?と思ったら」にしたがって調べてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

- 品名・品番
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容 (できるだけくわしく)
- お名前・ご住所・お電話番号

■消耗部品について

- 手すりのスポンジ、ベースの縁部のゴム、保護マットは消耗部品です。

【保証期間内は】

保証書の明記内容にもとづき、無償で修理いたします。ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。くわしくは保証書をご覧ください。

【保証期間が過ぎているときは】

修理によって使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

商品品質には万全を期しておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げ販売店または下記までご連絡ください。

株式会社 グランツ

営業時間 : 平日9:00～18:00(土曜日のみ17:00迄)
休業 : 日曜・祝日・第2.3.4.5土曜日
〒573-0024 大阪府枚方市田宮本町14-10

フリーダイヤル

 **0120-930287**



保証書

販売店の方へのお願い

お買い上げ日および貴店のお名前、ご住所、お電話番号を必ずご記入ご捺印した上で、お客様にお渡しください。

品 名 (品 番)	立ち上がり手すり PA-9534
保 証 期 間	お買い上げ日より1年間
お 買 い 上 げ 日	年 月 日

お客様

お 名 前	様
ご 住 所	〒 ()

販売店

店 名	
住 所	〒 ()

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書・本製品注意シール等に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼ください。その際には必ず本書をご提示ください。弊社からの出張修理の場合には、別途費用(旅費・技術料)をご負担いただきます。
- 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動時の落下・衝撃などによるお取り扱いが不適当なため生じた故障および損傷。
 - 火災・地震・風水害・落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - ご使用にともなう傷・汚れ等の経年変化および消耗品の交換。
 - 本書にお買い上げ年月日・販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 ●This warranty is valid only in Japan.
本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は本書をもとにした期間、条件において無償修理をお約束するものです。
したがってこの保証書により、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

株式会社 グランツ

〒573-0024 大阪府枚方市田宮本町14-10